

青翔中だより

3月号 平成29年3月24日 苫小牧市立青翔中学校



教育目標
～自立～
～貢献～
～創造～

自分を大切にすること・言葉を大切にすること

～修了式でのメッセージ～

苫小牧市立青翔中学校長 中川 恵介

今日で学校の一年が終わりとなります。
この一年間で皆さんは、どれくらい成長したでしょうか。
中学校生活の二年間、あるいは一年間が終わる今日、今一度、自分を客観的に見つめ、自分がどれくらい成長したかを考えてみてください。
ちょうど10日前に、229名の先輩たちが卒業していきました。
1年生の皆さんは、残念ながら出席できませんでしたが、感動的な素晴らしい卒業式でした。2年生の皆さんは聞いていたと思いますが、卒業式で私は2つのことを「はなむけの言葉」として贈りました。
その一つは、「自分を大切にしてほしい」ということでした。
自分を大切にすることは、自分を甘やかすことではありません。自分の考えを大切にし、自分のことは自分で決めることができる自覚や責任をもつということです。
1年生の入学式の時にも、「かけがえのない自分を大切にしてほしい」とお話ししました。「一人一人がかかけがえのない存在であるということは、人を人として大切にすることであり、お互いを認め、相手のことを思いやり、温かい心をもたなければならない。自分を大切にし、そして仲間を大切にし、信頼と友情、そして協力の輪を広げ、素晴らしい中学校生活を送ってください」とお話ししました。
また、1学期の終業式にはこんなお話をしました。
「君たちの中に、心ない言葉で周りの人の心を傷つけている人はいませんか。人を大切にしなければ、周りから自分も大切にしてくれません。」
さて、この一年を振り返って、学校では大きな事故はなかったものの、皆さんの中でこの「言葉」による色々なトラブルがありました。
言葉について、旭川市出身の作家の三浦綾子さんは次のように述べています。
「言葉は力であると思う。一言がその命を奪うこともあれば、受けた人の人生を変えることもある。言葉というものは、理不尽なほどに人間を動揺させ墜落させ、非情に走らせるかと思うと、奇跡のように甦らせ、向上させ、意欲を与えるものである。」
私たちが発する言葉が大きな力をもつことを述べています。
メールやSNSなどの通信技術の発達により、近年は色々なコミュニケーションの手段が生まれました。遠く離れた場所にいる人にも、簡単に言葉を伝えることができるとても便利な世の中です。
それだけに、顔と顔を合わせて言葉を交わす時と同様に「発せられた言葉に相手はどう感じるか」という心情を察する配慮の大切さは、心に留めておかなければなりません。
こうした心遣いがある言葉を「丁寧な言葉遣い」というのだと私は思います。
言葉は人間関係を創り出す大切な道具です。言葉遣いを丁寧にすることは、「友だちを大切にすること」でもあり、自分を大切にすることでもある」と私は思います。
この一年を振り返り、自分自身をしっかりと見つめ直し、あと2週間後の新しい学年のスタートに備えてください。

青翔中の生徒たちの活躍

<第34回 冬休み読書感想文コンクール>
「特選 2年男子1名」、「最優秀賞 2年女子1名」
「優秀賞 1年女子1名」、「優良賞 1年女子5名」

<第31回 全道中学生の税をテーマとしたポスターの募集>
北海道胆振総合振興局長賞 2年女子1名、1年女子1名

【男子バスケットボール部】
苫小牧地区中学校冬季バスケットボール大会 ブロック優勝



【北海道胆振総合振興局長賞 受賞】

お世話になりました!

今年度の人事異動等で、種田教諭(退職)・高橋教諭・天野教諭・若松教諭・前田昭一教諭・竹中教諭(退職)・斉藤事務職員・戸田公務補が本校を離れることとなりました。

青翔中学校の教育活動推進に大変尽力をいただきました。異動先等をお知らせし、各人からのメッセージをお伝えいたします。

種田 和志	教諭	退職
高橋 千恵	教諭	苫小牧市立明野中学校
天野 久絵	教諭	安平町立追分中学校
若松 優衣	教諭	登別市立緑陽中学校

前田 昭一	教諭	苫小牧市立光洋中学校
竹中 美和子	講師	退職
斉藤 光信	事務職員	苫小牧市立若草小学校
戸田 弘	公務補	苫小牧市立開成中学校

◆種田和志◆ 38年間の教員生活。その最後の3年間が青翔中学校でした。この間、保護者の中には、かつての教え子も数名おり、懐かしさと同時に、月日が経つ早さを感じさせられました。3年間お世話になりました。
◆高橋千恵◆ 開校以来、大変お世話になりました。今まで何校か中学校を経験してきましたが、その中でも「合唱」の素晴らしさは青翔中学校が一番です。美術部と一緒に過ごした日々、とても楽しかったです。紙フェスティバル、今度は遊びに行きます。とても素直な10組の生徒に囲まれて、毎日充実した日々を過ごすことができました。生徒のみなさん、保護者の皆さま、ありがとうございました。
◆天野久絵◆ わたしが赴任したのは開校3年目、開校当時1年生だった生徒が3年生になったときでした。新しい学校だからこそ、この学校の伝統を自分たちがつくるんだという生徒の強い意志がありました。生徒と保護者と地域と教職員が一丸となってつくり上げた学校が青翔中学校です。その中で6年間過ごせたことは私の誇りであり、一生忘れることのできない宝物です。お世話になった皆さんには、感謝の念でいっぱいです。本当にお世話になりました。ありがとうございました。
◆若松優衣◆ このたび、登別市立緑陽中学校に異動することになりました若松です。青翔中学校で過ごした4年間は、可愛い生徒と温かい教職員、やりがいのある仕事に恵まれ、今思うとあっという間でした。この春に、教師としてはじめて卒業生を送り出せたことを、とても幸せに感じています。一生忘れることのない、3年2組の生徒たちです。青翔中学校での思い出を胸に秘め、これからも頑張っていきたいと思えます。今まで、ありがとうございました。
◆前田昭一◆ 早いもので、もう2年もお世話になりました。伝統を新たに創造し続ける生徒たち、先生たちの中で、活気ある日々を送らせていただきました。よどみなく流れる水のように、清く、力強く、前進する学校であり続けてください。
◆竹中美和子◆ 授業の中で「楽譜にはつくった人の願いがたくさん詰まっている。その思いを見つけ、感じとって歌ってほしい」そんな話をしました。合唱がとても上手な皆さん。青翔の合唱をお願いしますね。 最後の授業の後に、私のところにやってきて「ありがとうございました」と言ってくれた人がいました。心からの挨拶、心からの歌声は「言霊(ことだま)」となって人の心に響くものです。忘れません。人数が増えても一人一人が大切なパズルのピース~なくてはならない存在~です。いつまでも、歌声で心が結ばれる青翔中で!
◆斉藤光信◆ 1年間でしたが、大変お世話になりました。中学校勤務は20年ぶり、体育大会や学校祭での生徒の皆さんの躍動ぶりが目にまぶしかったです。
◆戸田弘◆ 青翔中に来て、4年間はとても早く時が流れたような気がします。毎年、生徒が増え、校舎の増築工事があり、めまぐるしく時間が過ぎましたが、生徒の皆さんや地域の方々の御協力いただきながら、何とかやってこられました。本当にありがとうございました。

4月の行事予定

<p>4日(火) 新入生・学級発表(10:00) 新2年・学級発表(13:00) ※新2年生予備登校 新3年・学級発表(14:20) ※新3年生は学級編成は行いません</p> <p>6日(木) 始業式・着任式、入学式準備 7日(金) 入学式(新2年生は登校しません) ※拓勇・拓進小入学式(13:30)</p> <p>10日(月) 新入生歓迎集会 11日(火) 二計測・視力検査 12日(水) 任命式リハーサル、尿検査1次 ※「ピロリ菌検査」同意書締切</p> <p>13日(木) 学力テスト(全学年)、職員会議 14日(金) 職員会議 15日(土) 苫小牧地区中学校団体対抗ソフトテニス大会(緑ヶ丘) 17日(月) 任命式、全校協議会・常任委員会</p>	<p>18日(火) 全国学力・学習状況調査(3年) 苫小牧市統一学力検査(1年・2年)</p> <p>19日(水) 学級写真撮影、職員会議 20日(木) 内科検診3年①、全校協議会 21日(金) 参観日・PTA総会 22日(土) バレー春季大会(~23日) バスケ春季大会(~29日) 民報杯争奪軟式野球大会(~29日)</p> <p>25日(火) 常任委員会 26日(水) 苦教研S 27日(木) 内科検診3年② 28日(金) 尿検査2次 29日(土) 昭和の日 道央中学卓球選手権(~30日/恵庭)</p> <p>◆内科検診・「ピロリ菌検査」の詳細については、後日提示します。</p>
--	--

お知らせ

「多くの仲間との交流を通して、コミュニケーション能力の向上を図る」、「毎年新たなスタートを切る機会を設定する」ことを目的に、現在の1年生から毎年学級編成を行うこととしました。
現1年生から、2年生から3年生になるときにも、新たに学級編成を行うこととなります。

- | | | | |
|---|------|---------------|--------|
| ○ | 現1年生 | 2年生から3年生になるとき | 学級編成あり |
| ○ | 現2年生 | 2年生から3年生になるとき | 学級編成なし |